

所管部長等名	環境部長 福田 晃
所管課・係名	環境課 環境保全係
課長名	今井 晃

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	環境基本計画等推進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金		「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名	太陽光発電システム設置費補助金
会計区分	一般会計			
予算の事業名	環境基本計画等推進事業			
事業コード(大-中-小)	31	01	03	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第5章 人と自然が調和するまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③環境にやさしいまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	②地球環境問題への対応		
	具体的な施策と内容	(1)地球温暖化対策の推進		
根拠法令、要綱等	八代市環境基本計画、八代市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱			
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を●)	○ 義務である ● 義務ではない
事業期間	開始年度	平成21年度	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	住宅用太陽光発電システムを新規に設置する個人(市民)	温室効果ガス排出量の伸びが著しいとされる家庭部門に対する地球温暖化対策の一つとして、住宅用太陽光発電システムの設置者に補助金を交付することにより、①各家庭における自然エネルギーの普及、及び利用を促進し、もって、②温室効果ガス排出量の削減を図る。
事業開始時点からこれまでの状況変化等	<p>○市補助額[国及び県補助金との併用可能]</p> <p>・平成21年度:3万円/kW(上限10万円) 予算額1,000万円(当初500万円、補正500万円) 補助実績101件(総発電能力453kW)</p> <p>・平成22年度:1.5万円/kW(上限6万円) 予算額600万円 補助実績106件( " 478kW)</p> <p>・平成23年度:1.5万円/kW(上限5万円) 予算額1,300万円(当初1,000万円、補正300万円) 補助実績261件( " 1,376kW)</p> <p>・平成24年度:1.5万円/kW(上限5万円)* 予算額1,780万円 補助予定260件</p> <p>*さらに市内業者と工事請負契約締結の場合は、3万円(定額)を上乗せ。</p> <p>市環境基本計画(平成21年2月策定)に基づき、前出の目的を達成するため、平成21年4月から当該補助制度を開始。平成21年1月から国の補助制度が再開されたこと、及び同年7月から熊本県も補助制度を開始したこと、さらには同年11月からは余剰電力の新たな買取制度が開始されたこと等から、本市においても住宅用太陽光発電システムはかつてないほど普及が図られた。また、平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う原発事故の影響により、クリーンで安全な自然エネルギーに対する期待や関心の高まり等を受け、現在も順調に普及しつつある。</p>		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	11,572	18,459	19,900	19,900	0	0	
	事業費(直接経費)	千円	5,972	12,859	17,800	17,800	0	0	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他( )	千円						
	一般財源	千円	5,972	12,859	17,800	17,800			
概算人件費(正規職員)	千円	5,600	5,600	2,100	2,100	0	0		
正規職員	従事者数	人	0.80	0.80	0.30	0.30			
臨時職員等従事者数	人	0.00	0.00	0.67	0.67				

未定\*1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
				① 補助実績	補助実績(件数)は、住宅用太陽光発電システムの新規設置件数であり、自然エネルギーの新規利用者数であることから、成果目標①を数値化するうえで適当。	件	106	261	260
② CO <sub>2</sub> 削減量*2 [累計値]	補助を実施した住宅用太陽光発電システムにより削減されたCO <sub>2</sub> 削減量は、成果目標②を数値化するうえで適当。	t-CO <sub>2</sub> /年	360 (約170世帯分の年間排出量に相当)	890 (約420世帯分の年間排出量に相当)	1,420 (約670世帯分の年間排出量に相当)	1,950 (約920世帯分の年間排出量に相当)	-	-	

〈記述欄〉

\*1:今後、国等の動向を見極めたうえで、補助の実施如何について検討・判断する。  
 \*2:CO<sub>2</sub>削減量=市が補助を実施した太陽光発電システムの総発電量(総発電能力\*1,000kWh/年)×0.000385t-CO<sub>2</sub>/kWh(H22九州電力(株)実排出係数)により算定

**(Check) 事務事業の自己評価**

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A	(現状分析等) 当該補助制度は、市総合計画及び市環境基本計画に掲げられた地球温暖化対策の一つとして実施してきたものである。また、時代の潮流とも言える自然エネルギーの普及に向け、当該補助金は、国及び県の補助金等とともに、初期投資の負担軽減につながっている等、太陽光発電システムの設置を考えている市民への大きな動機づけになっているものと認識している。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A A	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか(国・県・民間と競合していませんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A A	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移 していますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A A	(現状分析等) 数値指標①及び②のとおり、達成状況は順調に推移している。一方、住宅用太陽光発電システム設置に対してのみ優先的に補助を実施している現状が本市にとって適当かどうか、検討・整理しておくことが必要である。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B B	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A	(現状分析等) 平成24年度から臨時職員1名(8ヶ月)を雇用し、人件費の削減を図ったところであり、平成24年度補助額についても、前述及び後述のとおり、見直しを行ったところである。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A A	

**(Action) 事務事業の方向性と改革改善**

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 平成23年度事業仕分けにおける「規模拡充」との評価結果や市議会等における補助額等の増額要望を踏まえ、平成24年度は、自然エネルギーの普及・利用促進を図る目的に加え、地元業者の育成支援・雇用創出という観点から、市内業者との工事請負契約締結の場合には、定額3万円の乗せを行う予算措置を行ったところである。今後も当該補助制度の内容を維持しつつ、国等の動向を見極めながら、引き続き、家庭部門の温室効果ガスを削減するための主軸として展開していく。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 今夏示される予定の国のエネルギー政策の方向性等について注視していくとともに、必要に応じて、当該補助制度のあり方について検討・改善を図る。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------